

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する

ROE
8～10%超税引前当期純利益
5,000億円超

② 中長期の経営戦略

1. 日本フランチャイズを活かした

グローバル戦略の深化。日本の強固な事業基盤とグローバル・プロダクトの競争力を活かしたビジネス展開

3. プラットフォーム提供戦略推進

パブリック・プライベート領域への拡大、デジタル金融やサステナビリティ分野の新領域開拓

2. 安定収益の飛躍的成長

ウェルス・マネジメント部門の資産管理ビジネス転換、インベストメント・マネジメント部門強化に注力

4. 部門連携の強化

各ビジネスライン・国内外・他部門との連携強化によりお客様に高度なサービスと付加価値を提供

③ 対処すべき課題

① ウェルス・マネジメント部門

- ・日本の家計金融資産に占める有価証券比率の向上を目指し多様な資産管理ニーズに対応
- ・全国の野村証券本支店を通じた包括的資産管理サービス提供とパートナーのスキルアップ

② インベストメント・マネジメント部門

- ・運用報酬率の下方圧力継続下での運用力向上と運用資産残高拡大
- ・オルタナティブ資産・プライベート資産などの高報酬率分野拡充
- ・Macquarie買収により米国・欧州のパブリック・アセットマネジメント事業を2025年12月末までに取得予…

③ ホールセール部門・バンキング機能

- ・お客様ニーズの高度化・テクノロジー発展への対応と収益安定化
- ・グローバル・マーケットでの流動性提供とビジネス・ポートフォリオ多角化
- ・2025年4月1日にバンキング部門新設、銀行・信託機能による質の高いサービス提供

面接で使えるポイント

- ・2030年度に向けROE8～10%・税引前当期純利益5,000億円超達成目指し…
- ・Macquarie買収約18億米ドルを通じ米欧資産運用事業を強化、グローバル戦略を加速する取組み
- ・野村信託銀行など傘下エンティティの強みを活かし、2025年4月新設バンキング部門で顧客ニーズに応える体制構築

証券コード 8604

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
証券業を中核とする投資・金融サービス業を展開する
大手総合金融グループ

主力事業・セグメント

・証券、商品先物取引業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ時々曇り
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

18点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 61.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,421万円

証券、商品先物取引業内 4位/36社

平均年齢

45.0歳

証券、商品先物取引業内 10位/36社

平均勤続

4.0年

証券、商品先物取引業内 31位/36社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考：【3分で読める】どうなる！？宇宙産業の未来 | コラム | 野村の金

